



今の政治のおかしさは 今 始まったことではありませんよね  
 いいのかなと思っていてハッと気づいた時にはとんでもないことになっている  
 そんな気がしませんか？

？ 「日本はお金だけ出して国際貢献をしていない」と言われる。  
 ・国際社会で恥ずかしくないようにしたい。

？ 今の憲法はアメリカから押し付けられたものだから変えた方がいい。  
 ・自衛隊もがんばっているのだから認めてあげた方がいい。

おかしい戦争回が  
 どんどん進んでる！

- 国際緊急援助隊派遣法
- PKO 協力法
- 周辺事態法
- 船舶検査活動法
- テロ対策特別措置法
- イラク特別措置法
- 新テロ特別措置法

**自民党新憲法草案**

**第9条の2(自衛軍)**

①我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮権者とする自衛軍を保持する。(②③④項省略)

おかしい自衛隊の  
 存在を認めよう

こんなこと  
 やって  
 世の中  
 よくなる?!

- ・格差社会
- ・福祉切り捨て
- ・なんでもかんでも受益者負担
- ・医師不足
- ・病院や保育所等の民営化

- ・派遣切り
- ・暴言の数々「本当に働く気があるの?!」等々
- ・消えた国民年金
- ・おかしな学力テスト
- ・教育格差

？ 終身雇用の時代ではない。能力給  
 ・「痛みはみんなで分け合いましょう」  
 ・民営化で活力を  
 ・大企業が栄えれば景気がよくなる。

？ 自由な競争が人間も社会も進歩させる。  
 ・規制緩和で就職口が増える。  
 ・自己責任は大切だ。

それに対し 今の憲法はひとりひとりの国民を守ることを考えている

だからこそ今、世の中をしっかりと見すえてよく考えないと!!

国民投票法 (=改憲手続き法案)

2007年(平成19年) 5月14日 成立  
 5月18日 公布  
 2010年(平成22年) 5月18日 施行

ホントに  
 真剣に考え  
 ますネ!



# 軍隊を持たない国が27か国も!!

そして 大西洋に「9条の碑」が!

知っていましたか?!

戦争を起こすのも人間、戦争をやめるのも人間  
 軍隊がなければ自ら戦争を起こすことはない。

日本国憲法第9条をだいじにすることは  
 人間を大事にすることなんです。

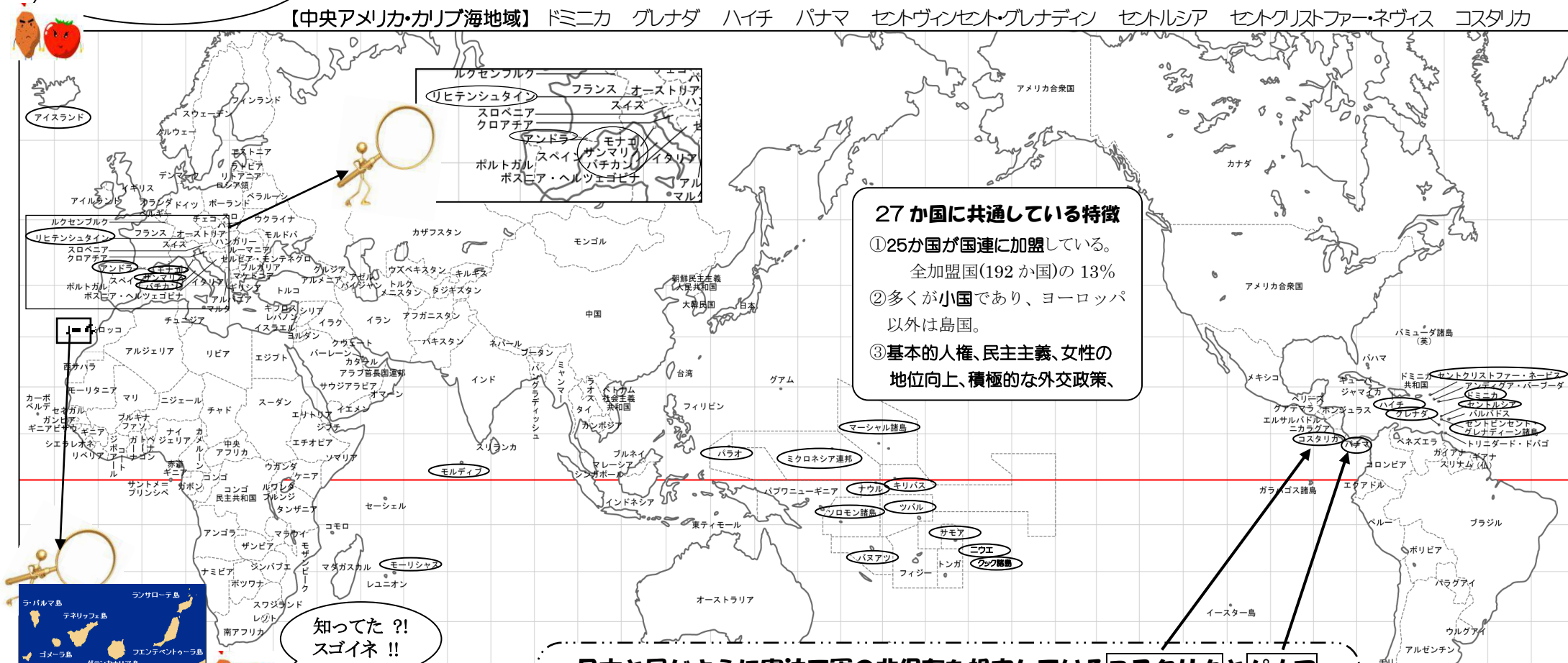


成城地域「九条の会」

# この27か国、 どこにあるのかな？

📍がついてるよ。さがしてみよう。

- 【太平洋の島国】 ミクロネシア パラオ マーシャル諸島 キリバス ナウル サモア トゥヴァル クック諸島 ニウエ ソロモン諸島 ヴァヌアツ
- 【インド洋の島国】 モルディブ モーリシャス
- 【ヨーロッパ】 リヒテンシュタイン アンドラ サンマリノ ヴァチカン モナコ アイスランド
- 【中央アメリカ・カリブ海地域】 ドミニカ グレナダ ハイチ パナマ セントヴィンセント・グレナディン セントルシア セントクリストファー・ネヴィス コスタリカ



**27か国に共通している特徴**

- ①25か国が国連に加盟している。  
全加盟国(192か国)の13%
- ②多くが小国であり、ヨーロッパ以外は島国。
- ③基本的人権、民主主義、女性の地位向上、積極的な外交政策、

知ってた?!  
スゴイネ!!

## 日本と同じように憲法で軍の非保有を規定している**コスタリカ**と**パナマ**

**カナリア諸島**

大西洋に浮かぶスペインのカナリア諸島の**グランカナリア島**テルデ市の一角「**広島・長崎広場**」に日本の憲法9条をスペイン語に訳した碑が立っている。タイル張りで高さ3m幅2m。

非核と平和を求める市民のあいだで、日本の憲法が話題となり、1996年、戦争犠牲者の遺悼と平和の祈りをこめてつくられたもの。



**コスタリカ**

★1948年に内戦が起き、2ヵ月間で国民2000人が死んだそうです。そして「もう二度とあんな悲惨な内戦はしたくない。悲惨な戦争が起きないためには、どうしたらいいか」と国会で議論したそうです。その結果、翌年作られた憲法の第12条に「常備軍を禁止する」と明記し、そのとき本当に軍隊をなくしました。1980年代、中米地域の他国の内戦に対し、当時のアリアス大統領は対話でその内戦を終わらせ、その功績はノーベル平和賞受賞に繋がります。こうしてコスタリカは平和を広めようとしている「平和国家」という認識を世界各国に広めました。軍事予算はそのままそっくり教育予算に変わり、教育の内容も、「基本的人権の教育」を徹底して実践しているそうです。国際連合が平和構築のための専門人材を養成するために設立した研究機関「平和大学」の本部もここにあります。(インターネットより)

★コスタリカ人カレンさんの言葉「コスタリカは自然に溢れ、子どもという花に溢れている。それがコスタリカの平和の特徴」「平和は待っていても得られない。わたしたちはすぐに社会を変えることはできないが日々の行動様式を変えることはできる」「軍隊を捨てたあと中産階層が元気になった。市民意識を鋭くすることが重要」「大切なのはいのちを大事にすること」(『カレンさんコスタリカを語る』草の根出版会より)

★コスタリカは島国日本と違って、これまで隣国からしばしば軍事的脅威にさらされてきた。にもかかわらずアメリカの基地を拒否し毅然と平和主義を貫いた上に中米全体の平和をまとめてきた。その努力は並大抵のものではないように思える。(早乙女勝元『軍隊のないコスタリカ』より)

**パナマ**

アメリカ軍のパナマ侵攻により一九九〇年に軍が解体された。一九九四年改正の憲法で軍の非保有を宣言。警察・沿岸警備隊などの人員は一、八〇〇名以下に制限している。